

## データ製作マニュアル(足場幕)

印刷データに不備がございますと、確認作業に時間が掛かり納期が遅れてしまう場合がございます。内容をご確認のうえ、データを作成いただきますよう、よろしくお願いいたします。

・ データ形式について(Adobe Illustrator (AI形式 または EPS形式)) 

・ 縫製・ハトメの仕上がりについて 

・ 仕上がりサイズについて 

・ イラストレーターデータについて 

・ カラーモードをCMYKにする

・ スポットカラー(特色)を使用しない

・ 使用画像は150dpi以上にし、埋め込みする

・ 文字はアウトラインする

・ ブラシ・シンボル・ドロップシャドウ等の効果はアピアランス分割する

## データ形式について

### 入稿可能なデータ

入稿可能なデータ形式は、Adobe Illustrator(イラストレーター)のaiデータ、もしくはEPSデータになります。



### 入稿できないデータ

Adobe PhotoshopやOffice系データ(Word・Excel・PowerPoint)、PDF形式、png、jpgの画像データでの入稿はできません。



## 縫製・ハトメの仕上がりについて

ビニプロの幕製品の印刷面では、折り返し加工の縫い目やハトメが幕の周囲に設置されます。



### ハトメ加工のみの場合

ハトメ加工や縫製部分に文字やデザインを配置すると潰れてしまう可能性があります。デザインや文字は余裕を持って仕上がりから40mm内側に収めるようにしてください。



**×** 文字や絵柄がミシン糸やハトメにかかってしまいます

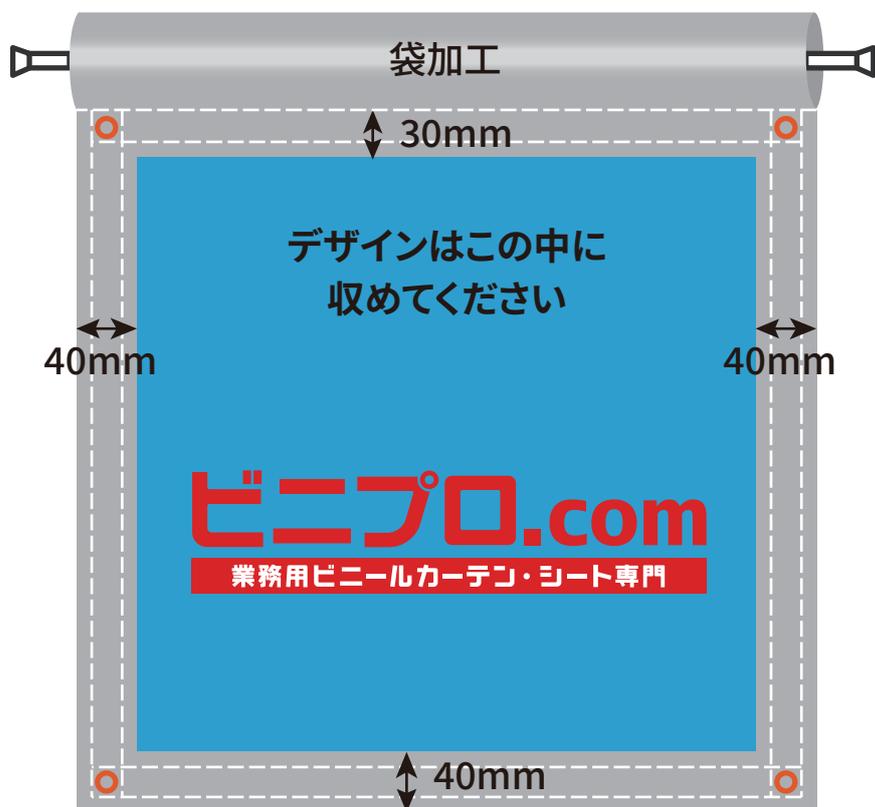
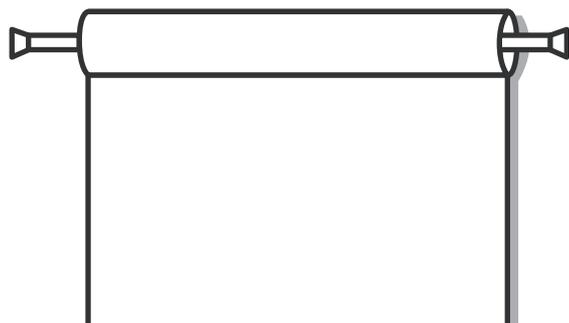


**○** 文字や絵柄がミシン糸やハトメにかからずに製作できます



## 袋加工の場合

袋加工のデザインは、加工する辺に袋縫い部分とさらに内側30mmに縫製が入ります。そのため、袋加工の辺には30mm内に、袋加工の無い辺は40mm内側にデザインを収めてください。



**X** 文字や絵柄がミシン糸やハトメにかかってしまいます



**O** 文字や絵柄がミシン糸やハトメにかからずに製作できます



※仕上がりサイズに袋幅は含まれます。

※袋加工部分の幅は使用するポールの幅によってサイズが異なります。

詳しい袋幅についてはお見積りの際にスタッフから提示させていただきます。

## 仕上がりサイズについて

足場幕の仕上がりサイズとイラストレーターのアートボードを同じにしてください。  
幕サイズによっては実寸で製作するとデータ容量が重くなってしまう場合がございます。  
その場合は10分の1での製作も可能です。※10分の1で製作した場合は埋め込む画像解像度は1500dpi以上必要です。

## 塗り足しについて

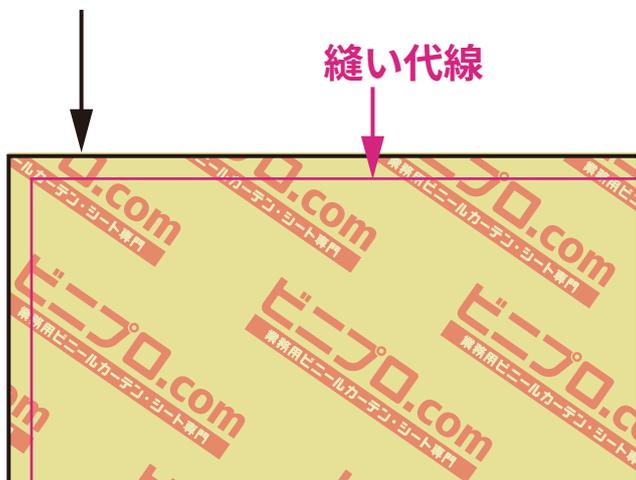
足場幕の仕上がりは四方を折返して加工します。内側の赤い線（縫い代線）から外側は縫製やハトメの兼ね合いで絵柄が隠れる場合がございますので、見せたい文字や絵柄は赤い線よりも内側に配置するようにしてください。

オブジェクトが幕からはみ出す場合は必ずクリッピングマスクをかけてください。

※トンボは作成しないでください。

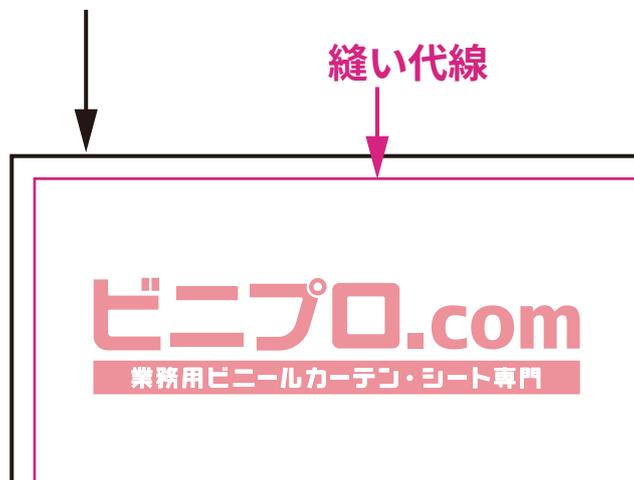
### 塗り足しがあるデータ

仕上がり線(幕サイズ) = アートボード



### 塗り足しがないデータ

仕上がり線(幕サイズ) = アートボード



## イラストレーターデータについて

### カラーモードを CMYK にする

カラー設定はCMYKのみ使用可能です。特色やRGBは使用できません。すべてのカラーはCMYKに必ず変換してからご入稿ください。

### スポットカラー（特色）を使用しない

**幕の印刷にはスポットカラー（特色）は使用できません。**

ビニプロの印刷はCMYK(C:シアン、M:マゼンタ、Y:イエロー、Kブラック)の4色を掛け合わせて使用するプロセスカラー印刷になります。特色を使用している場合は、CMYKに変換してください。

### 使用画像は 150dpi 以上にし、埋め込みする

幕に印刷する画像は、原寸で150～350dpiのものを使用し、イラストレーターには埋め込み配置をしてください。**※アートボードサイズを10分の1で製作した場合は解像度1500dpi以上が必要です。**

### 文字はアウトラインする

文字のアウトラインとは、文字のテキストデータを図形にすることです。デザイン通りに印刷するため、文字は全てアウトラインにしてください。

### ブラシ・シンボル・ドロップシャドウ等の効果はアピアランス分割する

変形・ブラシ・シンボル・ドロップシャドウ・透明・乗算などの[効果]を使用したオブジェクトは見た目は変化して見えますが、データ上は形状の変化が適応されません。[効果]を使用したオブジェクトは、アピアランス分割またはラスターライズをしてからご入稿ください。